

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 31 号
R7. 08. 5
公益社団法人自衛隊家族会
事務局 長 阿部 知己

令和 7年 8月「月 報」

1 はじめに

7月18日、防衛省女性職員活躍・ワークライフバランス推進本部（本部長：防衛副大臣）において、陸上自衛隊の有毒化学剤や放射能などに汚染された地域で活動する可能性がある特殊武器（化学）防護隊の一部の部隊の女性自衛官の配置制限を解除することを決定した旨、発表がありました。

防衛省は、1993年に多くの職務で女性の配置を開放し始め、2015年には空自が戦闘機パイロットを含む全ての配置を解放し、翌年には海自がミサイル艇、護衛艦への配置を解放しました。2017年には陸自が普通科中隊や戦車中隊への配置を、2018年には海自が潜水艦への配置を解放し、2020年には空挺隊員や潜水艦の乗員が誕生しています。

今回の配置制限撤廃で、陸・海・空自衛隊における女性自衛官の配置制限が完全に撤廃されました。この間、安全性を増大する装備品の開発、改良、居住施設の整備等の施策を進めてこられたことはもちろん、高い能力と意欲に満ちた女性自衛官の皆様の努力に敬意を表します。

制限解除が、自衛隊員の募集環境の向上と自衛隊の任務遂行能力の向上に大いに役立つものと期待しております。

総合募集情報誌ディフェンスワールド25では、「共通基盤などの強化」のなかで、今回の制限解除以前の状況で女性の活躍推進のための改革について記載しています。

ディフェンスワールド24には、同じ項目で、それまでに制限を解除された陸海空の女性自衛官の写真を掲載していますので、募集広報にご活用下さい。

2 防衛省・自衛隊の活動（写真、図表等は防衛省、各幕、駐屯地・基地等HP等より。）

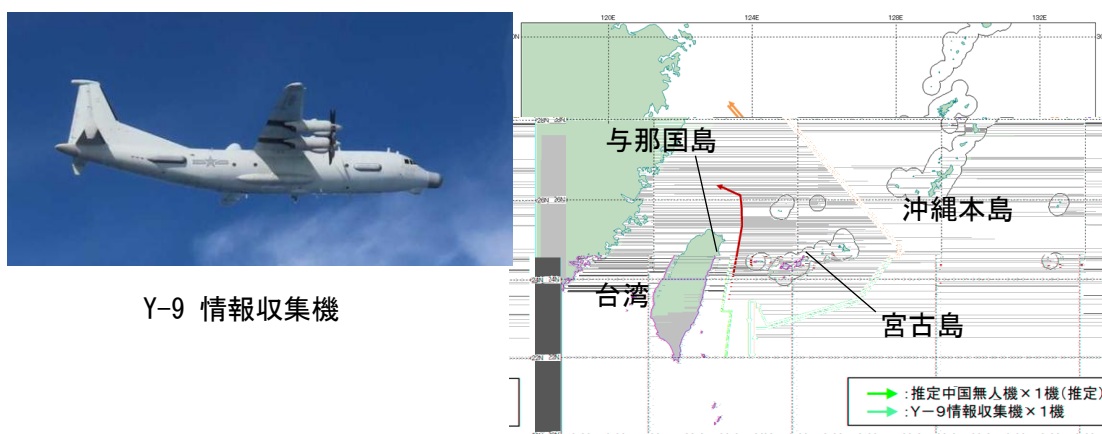
（1） 7月15日、防衛省は令和7年版防衛白書を公表しました。

令和7年版防衛白書は、我が国を取り巻く安全保障環境や、戦略3文書を踏まえて進めている防衛力の抜本的強化のための防衛省・自衛隊の取組を、分かりやすく理解できるよう、令和6年度の事象を中心にまとめられており、特に、本年3月の統合戦司令部の新設、また、自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立について、特集も組んで丁寧に説明されています。（表紙：ヨシフク ホノカ氏作）→



表紙はこれまで防衛白書を手にしたことがないような、若者を始めとする一般の方々にこそ、気軽に手に取ってもらいたいという思いから、ポップなデザインになっています。将来を担う小中高生にも、防衛省・自衛隊について理解を深めてもらうように、我が国防衛の入門書となる「まるわかり！日本の防衛」も、同時に公表されました。

- (2) 統幕は、7月15日午後、推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過し、東シナ海に至ったことを確認しました。また、同日午後、中国軍のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上を与那国島沖まで飛行した後、旋回・反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過し、東シナ海に至ったことを確認しました。これらに対し、空自南西航空方面隊の戦闘機を緊急発進させ対応しました。



Y-9 情報収集機

Y-9は、6月30日にも沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過して東シナ海に至ったことが確認されており、無人機の飛行を含め、中国軍が活発に活動しています。

(3) 募集活動



共愛学園前橋国際大学
での説明会

群馬地本



陸自高等工科学学校
リクルーターによる
母校訪問、後輩激励、説明

自衛官募集に係る
高等学校進路指導主事説明会
(鳥取地本)



3 家族会の活動トピック

(1) 募集協力活動（道東自衛隊家族会中標津地方支部）

7月1日 0730～0830の間、北海道中標津高等学校前で、帯広地本中標津地域事務所の募集活動に協力し、登校中の生徒に対し自衛官募集チラシ入りのティッシュを配布して自衛官募集の呼びかけを行いました。

同校は毎年自衛官を数多く輩出しており、高校側の自衛隊に対する理解も深く、とても協力的な学校ですが、募集呼びかけに対する生徒の反応は様々で、好感触のものもあれば、「いや遠慮します」や「ガン無視」と寂しくなるような反応もあり、直接高校生の「生の反応」を肌で感じる事が出来ました。出勤前の忙しい時間帯の活動でしたが、協力者は充実した気分になれたようであり、あらためて令和7年度の募集目標達成のために中標津地域事務所と積極的に連携をとって頑張りたいと誓いあい、それぞれの職場に散ってゆきました。



(2) 遠洋練習航海部隊

出国を激励（神奈川県家族会）



(3) 自衛官候補生課程（第5普通科連隊担当）

25km行進訓練を激励（青森県家族会 & 候補生の家族）



(4) 2等空士任命式（熊谷）で新たな階級章を付けた

新隊員を激励 & 基地見学
（熊谷市家族会）



(4) 自衛官候補生課程修了式で 隊員を激励（兵庫県家族会）



千 僧

福知山

姫 路



青野原

(5) 青森開港400周年記念の一環として青森港に入港した護衛艦

「むらさめ」「てるづき」を歓迎

青森県家族会女性部が「ねぶた踊り」を

披露！・・・(気温34度！！)

護衛艦乗員も・・・

共に跳ねる！！

ラッセラー、ラッセラー



(6) 総合募集情報誌ディフェンスワールド26 (DW26) 取材開始

DWは自衛隊のことをよく知らない方々に、分かり易く自衛隊、とりわけ各種の募集種目、入隊後の処遇やキャリア形成、退職後の進路の例、現職隊員の体験談やご家族の声などを掲載し、自衛隊が人を生かす様々な仕事で成り立っていることをお知らせしています。DW26は、昨年定められた自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に係る基本方針により、自衛官の処遇がどのようなになるかも説明しています。

様々な職に就いておられる現職隊員の方の取材は、今年は
陸自：松本駐屯地、海自：佐世保基地、空自：小松基地に
お願いしております。

佐世保基地での取材の一コマ →



(7) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果(月間報告)

令和7年7月の「問い合わせ」件数について、各自衛隊担当者が直接対応したものは1件(以前からの継続している相談)、事務局で対応を終了したものは8件、合計9件でした。また、その中で、家族会会員からのものが3件有りました。今月の分類別では、相談者や隊員に関する相談であるⅠ分類が6件であり、家族会の組織等に係るⅡ分類の相談が3件有りました。会員からの相談は、全てⅡ分類のものでした。

Ⅰ分類の6件の中で配偶者からのものが4件、親御さん等それ以外の方からのものが2件でした。相談内容は、隊員の心身の不調、連れ合いである隊員の素行上の問題等で相談が寄せられました。

その中で、給与の具体的な中味が奥様に開示されない為に不安であるというものが有りました。一家の財布を夫婦のどちらが持つかということは、夫々のご夫婦で決めることであり、どちらが適当という正解は勿論有りませんが、家計のコントロールという面倒なことを忌避し、まして留守がちであった小職(相談員)は、妻に家計は丸投げであり「君臨すれども統治せず」などとうそぶいていた身としては、「それも良くなかったかな」、何にも増して夫婦間の適切な情報交換が必要と今は反省しております。

また、先月の本紙面では、転勤における奥様のご苦勞について記述しましたが、今月は、「転勤したい」というお願いや、御主人を「単身赴任にできないか」、即ち「亭主元気で留守がいい」どうしたらいいかという相談がありました。その様に考えられる理由

は有るのですが、仕事上転勤という形態が全く考えられない多くの民間の仕事と比較して、全国に部隊が所在し転居というものがアプリアリに存在する自衛隊という勤務の特性をあらためて感じさせられました。

なお、上記相談の中には自衛隊での勤務上、それを公にした場合、隊内で問題となる可能性の有る事案もありましたが、本相談窓口は自衛隊組織の一部では無く、まして違反(?)事由を諜知したり通報したりする場でもないため、相談者と今後についての丁寧な遣り取りを実施し、少なくとも相談者が納得のいく方向性を見出すことに努めております。

II 分類の相談では、会の運営に関する定款に記載されている事項の相談がありました。結論から言えば、家族会ホームページ上で定款を確認すれば済んだことですが、一つ一つを確認され丁寧に家族会の活動を実施されている証左であると理解しております。家族会の活動等に疑問事項が有り、地区会や県家族会で問題が解消できないものは、遠慮なく当窓口にご相談して頂きたいと思います。

なお、II 分類の別の相談で Web 版“おやばと”の解像度が低く見えにくいという相談がありました。これについては、表示にかかる技術的な改善を行い、質問を頂いた相談者にも確認をお願いした結果「見易くなった」と感謝の言葉を頂きました。しかし、その様なご要望を頂いた故に改善の端緒することが出来たわけですので事務局としても相談を頂いた方に対して感謝申し上げたいと思います。

4 事務局からの連絡

(1) 令和7年度防衛講演会

各県等家族会に実施をお願いしている防衛講演会、令和7年度は次のように行われる予定です。講師は、いずれも高田克樹 元陸上総隊司令官で、「激動する国際情勢と我が国の安全保障」と題してお話していただきます。 乞うご期待!!

担当県の皆様には、計画・準備・実施大変ですが、よろしくお願いします。

- | | |
|------------|------------------|
| ① 広島県防衛講演会 | 時期：令和7年10月25日(土) |
| | 場所：広島市交流会館(調整中) |
| ② 岐阜県防衛講演会 | 時期：令和7年10月30日(日) |
| | 場所：岐阜市商工会議所(調整中) |

(2) オリンピック冬季大会(ミラノ・コルティナダンペッツォ 2026. 令和8年2月6日～2月22日) 出場隊員等支援募金のお願い。

令和7年度自衛隊家族会事業計画「(公2) 隊員等に対する慰問・激励」に基づき、来年開催のオリンピック冬季大会に出場する隊員等を支援・激励いたします。

出場選手が発表されるのは年明けになるようですが、自衛隊体育学校からは、クロスカントリーやバイアスロンでの活躍が期待されます。

つきましては、次の要領で募金をよろしくお願いします。

① 募金額の基準：5千円／県家族会

② 募金期間：令和7年12月25日

③ 振込要領：

口座名：公益社団法人
自衛隊家族会

口座記号番号：

00140-9-6014

振込取扱票

口座記号番号 00140-9-6014

公益社団法人 自衛隊家族会

オリンピック募金

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号 00140-9-6014

公益社団法人 自衛隊家族会

通信欄に必ず「オリンピック募金」とお書きください

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長